mcAccess *e*

取扱説明書

EK-6175A 形 MCA 携帯機

品番 **EK-6175A**

保証書別添付

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
●取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
●ご使用前に「安全上のご注意」（4 ～ 11 ページ）を必ずお読みください。
●保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

特長

■ コンパクトサイズ
- 容積約 300 mL、質量約 350 g（本体と電池パックを含む。アンテナは含まない。）のコンパクトなサイズは、握りやすく使いやすい大きさです。

■ 高い防水性能
- 防浸［JIS IPX7（旧 JIS 保護等級 7 相当）］の基準を満たしています。内部に水が浸入しにくい構造で、雨の日でもご使用になれます。

■ 簡単操作
- 接続先を簡単に表示する局番号帳メモリー機能を装備しています。
- 漢字名称を選択して、相手局の呼び出しが行えます。
- 接続モード（全グループ、グループ、個別）の切り替えをワンタッチで行えます。

■ 漢字表示
- かな漢字変換で、自由文メッセージの入力に漢字が使えます。
- 漢字メッセージの送信及び受信が行えます。

■ 充実した録音機能
- 通話内容を録音する通話メモが使えます。
- 相手局から届いた伝言メモの再生が可能です。
- 相手局への伝言メモの録音が可能です。

■ 長時間使用可能
- リチウムイオン電池の採用と省電力モードの活用で、長時間の使用を実現しています。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

目次

安全上のご注意　必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠ 危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
⚠ 警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
⚠ 注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

●無線装置の取り扱いについて

⚠ 警告

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性があるので、電源を切る

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

病院内や医療機器のある場所では電源を切る（手術室、集中治療室、CCU[1] 等には持ち込まない）

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

自動ドア、火災報知器等の自動制御機器の近くで使用しない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

心臓ペースメーカー装着部位から 22 cm 以上離す

電波によりペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

航空機内では電源を切る

運航の安全に支障をきたすおそれがあります。

車を運転しながら操作しない

禁止

交通事故の原因になります。

- 運転者が操作するときは、車を安全な場所にとめてからご使用ください。

注 (1)：CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

安全上のご注意 必ずお守りください

●無線装置の取り扱いについて（つづき）

⚠ 注意

分解・改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因になります。

指定以外の装置を接続しない

禁止

けがなどの原因になることがあります。

長時間直接触れて使用しない

禁止

本機や AC 充電器の温度の高い部分に長時間、直接触れていると、低温やけど※1 の原因になります。

※ 1 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人（高齢者）などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

幼児の手の届くところに置かない

禁止

けがなどの原因になることがあります。

アンテナを取り付けて使用する

けがなどの原因になることがあります。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

●電池パックの取り扱いについて

⚠危険

火への投入、加熱をしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

（＋）と（－）を金属などで接触させない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

専用充電器を使用してください

発熱・発火・破裂の原因になります。

指定の機器専用の充電式電池です。指定機器以外に使用しない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

火のそばや炎天下などの高温の場所で充電・使用・放置をしない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

●電池パックの取り扱いについて（つづき）

⚠警告

電池パックが漏液したり、異臭を発する場合は火気に近づけない

禁止

発熱・発火・破裂の原因になります。

電池パックから漏れた電解液には触れない

禁止

液が目に入ったとき失明のおそれがあります。きれいな水で十分に洗った後、直ちに医師の治療をうけてください。

⚠注意

幼児の手の届くところに置かない

禁止

けがなどの原因になります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない

禁止

故障の原因になります。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

●充電器の取り扱いについて

⚠ 危険

指定の機器専用の充電器です　専用の充電式電池以外の充電には使用しない

禁止

電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります。

⚠ 警告

ぬらさない

水ぬれ禁止

火災や感電の原因になります。

- 水がかかった場合には、電源プラグをコンセントから抜いてください。

端子を金属でショートさせない

禁止

発熱や発火などの原因になります。

分解・改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因になります。

煙が出たり、変な臭いがしたら、電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、発火・事故の原因になります。

- 販売店にご相談ください。

●充電器の取り扱いについて（つづき）

⚠ 警告

開口部から金属類や異物を入れない

禁止

火災や感電の原因になります。

- 内部に金属類や異物が入った場合には、電源プラグをコンセントから抜いて販売店へご連絡ください。

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など）

禁止

傷んだまま使用すると、感電やショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

●充電器の取り扱いについて（つづき）

⚠ 警告

湿気の多い場所や雨水に当たる場所には設置しない

水場使用禁止

感電・火災・故障・変形のおそれがあります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流 100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

直射日光の強いところや、火気の近くなど高温の場所に設置しない

禁止

発熱・発火などの原因になります。

正しくご使用いただくために

故障の原因になることがありますので、必ずお守りください

- テレビ、ラジオ、電話機など、電子機器のそばでのご使用は避けてください。雑音が入ることがあります。
- 高精度部品を使用しておりますので、乱暴な取り扱いや落下など、強い衝撃を与えないようにしてください。
- 本体の清掃には、シンナー・ベンジン・接点スプレー・洗剤などは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- アンテナの先端をつかんで持ち歩かないでください。
- 真夏の直射日光の当たる場所や、車のダッシュボードの上など、極端な高温になる場所には、長時間置いたままにしないでください。

ご使用にあたってのお願い事項

- 使用中、本体は温かくなりますが、異常ではありません。
- 極端な高温・低温の環境下での利用は避けてください。故障の原因になります。
  推奨使用環境：温度　0 ℃～ +40 ℃
- サービス地域内でも、通話中、下記の場所に移動したときは通話がとぎれることがあります。
  電波の届かない場所（トンネル内など）
  電波の弱い場所（ビル陰など）

防水性能について

本装置は、電池パック、アンテナを取り付けた状態で、IPX7（旧 JIS 保護等級 7 相当）の防水性能を有しております。

IPX7（旧 JIS 保護等級 7 相当）とは、常温で水道水、かつ水深 1 m の静水に本装置を静かに沈め、30 分間放置後に取り出した場合に、製品としての機能を有すること。

※ 耐水圧設計ではありませんので、高い水圧がかかる場所でのご使用や、水中に長時間沈めることはおやめください。

具体的には

- 雨の中で傘をささずに通話できます。（1 時間の雨量が 20 mm 程度）
- 海辺やプールサイド、お風呂場でご利用いただけます。

正しくご使用いただくために

ご使用にあたっての重要事項

- 外部接続端子カバーは、確実に閉じてください。カバーが浮いていることのないように、完全に閉じたことを確認してください。
- 水中で本装置を使用しないでください。
- 防水性能の保証期間は、お買い上げ日から１年間です。
防水性能を維持するために、1年に1度は、防水パッキンを交換することをお勧めします。防水パッキンの交換については、サービス窓口に御相談ください（有料）。

お願い事項

- 外部接続端子カバーは確実に閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛１本、砂粒１つなど）がはさまると浸水の原因になります。
- 外部接続端子カバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に水などが入り、感電や故障の原因になります。そのまま使用せず、電源を切り、電池パックを外した状態で故障取扱窓口へご連絡ください。
- 外部接続端子カバーなどの防水パッキンは、防水性能を維持するうえで重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミなどが付着しないようご配慮ください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因になります。
- 海水、せっけん、洗剤、砂、泥が付着した場合は、洗面器などにためた 40 ℃以下の水道水で軽くゆすりながら洗い流してください。
蛇口やシャワーから直接水流を当てると、水流で泥や砂が、キー、スイッチ、マイク、スピーカーなどに入るおそれがあり、不具合の原因になります。
- 洗濯機などで洗わないでください。

- 電源部に水滴が付着した際は、乾いた布でふき取ってください。
- 熱湯、サウナ、温風（ドライヤーなど）は使用しないでください。
- 本装置に水、雪が付いた場合、ふき取れなかった水があとから漏れて、衣服や鞄をぬらす場合がありますので乾いた布でふき取ってください。
- ぬれている状態で充電しないでください。
- マイク、スピーカーなどを尖ったものでつつかないでください。
- 電池端子がショートするおそれがありますので、ぬれたまま放置しないでください。
- 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合は、保証の対象外となります。

水にぬれたときの水抜きについて

本装置を水にぬらした場合、ふき取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、下記の手順で水抜きを行ってください。

① 本装置表面の水分を乾いた布などでよくふき取ってください。
② 本装置をしっかりと持ち、約 20 回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。
両面とも同じように振ってください。
本体を振り飛ばさないようにしっかり握って行ってください。
③ 水をふき取ったあとでも本体内部には水分が残っていることがあります。ぬれて困るもののそばには、置かないでください。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

正しくご使用いただくために

電池パックの特性について

- 電池パックは、少し使って充電するのではなく、完全に使い切ってから充電することをおすすめします。
- 電池パックを長期間放置すると容量が低下していることがありますので、ご使用になる前には必ず充電してください。
- 電池パックを長期間使用しない場合は、目安として、30%～ 50%程度の充電を行い、常温にて保管してください。また、過放電防止のために、年 1 回程度の充放電をお勧めいたします。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返しても機能が回復しない場合は、電池パックの寿命です。指定の新しい電池パックをお求めください。
- 充電中や使用中は、電池パックがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。
- こわれたり、寿命が短くなりますので、落下させたり強い衝撃を与えないでください。
- 閉め切った車内や直射日光の当たる場所に放置すると、高温になり電池の容量が低下し、使用時間が短くなります。また、低温下で使用した場合も使用時間が短くなることがありますので、できるだけ常温（20 ℃）付近で使用してください。
- 電池パックには寿命があります。充電・放電の繰り返しは約 300 回です。また、使用できる時間は徐々に短くなります。最初に比べて、半分程度になってきたら交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

電池パックのリサイクルについて

本装置では、電池パックにリチウムイオン電池を使用しています。

Li-ion 00

・このマークは充電式リチウムイオン電池のリサイクルマークです。
・リサイクルマークの色は、青色です。

- 不要になった電池パックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルへご協力ください。
  詳細は、社団法人電池工業会小型二次電池再資源化推進センターのホームページをご参照ください。
  ホームページ　http://www.JBRC.COM
- 使用済み電池パックの取り扱いに関するお願い
  ① 端子をテープなどで絶縁してリサイクル箱に入れてください。
  ② 電池パックは分解しないでリサイクル箱に入れてください。

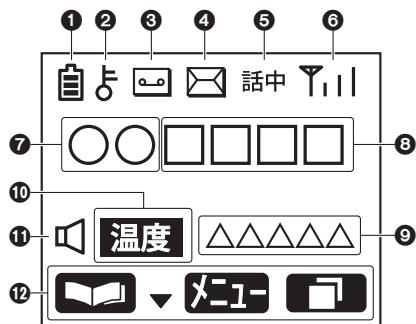
機器構成

	品　　名	品　番	数量	備　　考
標準構成	携帯型無線装置	EK-6175A	1	無線装置本体
	ストラップ		1	
	取扱説明書		1	
	保証書		1	
オプション	アンテナ	EK-A50085B		
	電池パック	EK-P50313A		専用リチウムイオン電池
	AC 充電器	EK-P50314A		
	ソフトケース	EK-B50019A		

- 電話モードを使用するには、管理移動局／指令局にオプション品が必要です。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

各部の説明

1. ディスプレイ表示部

❶電池マーク
:現在の電池残量を表示（本数が多いほど残量が多い）

❷キーマーク・データマーク
:キーロック設定時 点灯
:キーロック解除時 消灯
D :データ送信時 点灯（キーロック設定時は優先表示）

❸通話メモマーク
:通話メモ設定時 点灯

❹メールマーク
:メールまたは伝言メモ着信時 点灯（黒表示時は満杯）

❺無線回線状態
話中 :通話不可時 点灯
（圏外、他局送信時、回線混雑時及び発信規制中 他）
送信 :無線送信中 点灯
通話 :通話可能時 点灯
制限 :単一無線ゾーン時 点灯
グ× :管外ゾーン在圏時 点灯
予約 :予約時 点灯

❻受信電界表示
:受信電波の強度を表示（本数が多いほど強い）
圏内時点灯、圏外時「圏外」点灯

各部の説明

❼通信モード表示
発信する通信モードを表示
全グ :全グループモード時
グル :グループモード時
個別 :個別モード時
電話 :電話モード時
一斉 :全グループ一斉モード時

❽番号表示
発信する相手局の個別番号やグループ番号を表示

❾通信時限表示
通話制限時間を表示（通信中はダウンカウント）
設定により、状態、自ゾーンなどに表示変更が可能

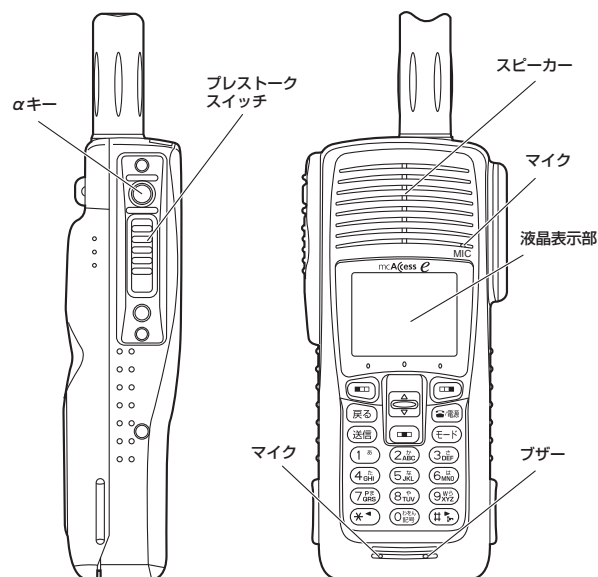
❿温度警告
無線装置本体の温度上昇警告時に点灯

⓫スピーカーマーク
:無線機モード時 点灯
押 :電話機モード時単信通信中 点灯

⓬ガイドキー表示
、▼▲、、キーを押したときの操作内容を表示
（各画面ごとに内容が異なるので、詳細は操作方法で説明）

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

各部の説明

2. キー操作部

No.	キー名称	主な機能
1		画面左下に表示されるガイドキーの操作（局番号帳、クリア、録音、他）
2	▼、▲（矢印キー）	待ち受け時：登録内容の検索 通話時：受話音量の調節
3		画面中央に表示されるガイドキーの操作（メニュー、文字確定、他）
4		画面右下に表示されるガイドキーの操作（履歴、切替、他）
5	電源	電源の ON/OFF（長押し）、通話終了
6	戻る	元画面への移行
7	送信	セレコール（取消含む）、メール、伝言メモの送信
8	モード	通信モード（全グループ／グループ／個別／全グループ一斉／電話）の切り替え
9	0〜9（テンキー）	番号／文字の入力
10	＊	＊入力、カーソル移動（左）
11	＃	＃入力、カーソル移動（右）、キーロック設定（長押し）
12	αキー	バックライトを継続点灯
13	プレストークスイッチ	発呼及び（プレストーク通信時）音声送信

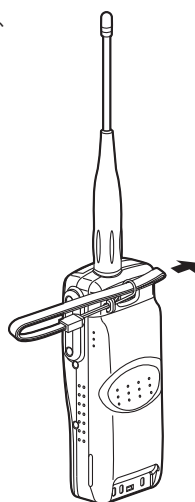
ワンポイント

- プレストークスイッチは、グループ通信などの片方向ずつ通話を行う単信通信時に使用します。通話を行う場合はスイッチを押しながら話し、聞く場合はスイッチを離しておくと音声が聞けます。（プレストーク通信）

お使いになる前に

無線装置をご使用になる前に、以下の内容を確認してください。

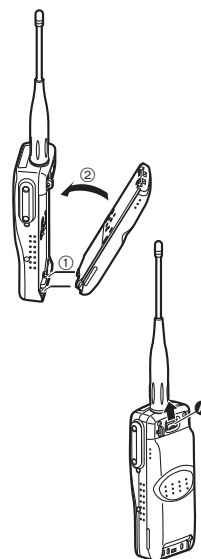
ストラップの取り付けかた

ストラップを取り付ける場合は、図のように取り付けてください。

電池パックの取り付けかた / 外しかた

専用の電池パック（オプション）を使用してください。

■ 取り付けかた

① 電池パック下部の爪を無線装置本体の下部に差し込みます。

②“カチッ”と音がするまで電池パックを押し込みます。

■ 外しかた

電池パックを外すときは、無線装置の電源を「OFF」にしてから行ってください。

Ⓐ の部分を矢印方向にスライドさせて、無線装置本体から電池パックを外します。

お使いになる前に

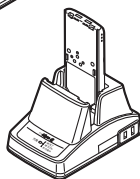
充電のしかた

充電は、次の２通りの方法で行えます。（オプション）

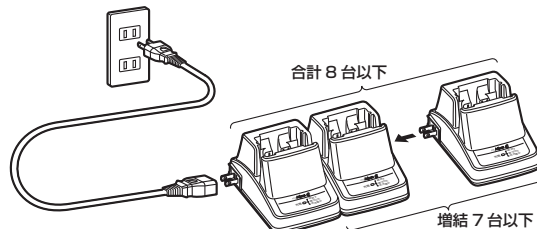
■ 電池パックを無線装置本体に取り付けているとき

無線装置本体を正面に向け、充電器の溝に合わせて差し込みます。
ソフトケースを装着したままでも、充電することができます。

■ 電池パック単体で充電するとき

電池パックの注意ラベルの面を正面に向け、充電器の溝に合わせて差し込みます。

充電ランプが赤色に点灯して、確実に装着していることを確認してください。
充電が完了すると、充電ランプが緑色に点灯します。

連結のしかた

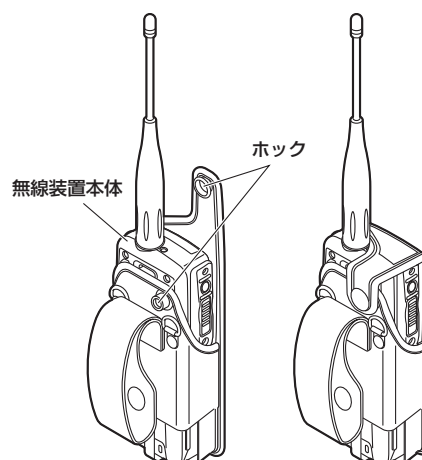
充電器を７台まで増結して（増結後の合計台数は８台まで）、同時に充電することができます。

お使いになる前に

お願い

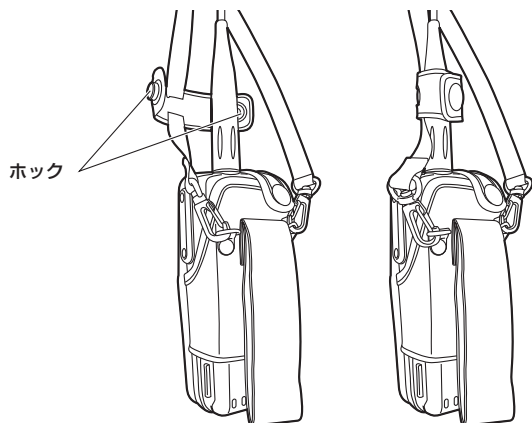
- **AC 充電器（EK-P50314A）以外の電気器具を接続しないでください。**
- **８台以上増結しないでください。**
- 電源プラグを確実に差し込んでください。差し込みが不十分の場合、金属類や異物が挟まり、ショートや発熱により火災や感電の原因になります。
- 連結した充電器の AC100 V 入力端子に、無理な力が加わらないようにしてください。
- 電源は、必ず家庭用 AC100 V を使用してください。
- 周囲温度５ ℃～ 35 ℃の範囲内で充電を行ってください。この温度の範囲外や、電池パックが熱くなった状態で充電すると、充電を中断したり、充電時間が長くなることがあります。
- 充電中に電池パックがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。
- 本充電器は、過充電防止のために、充電開始から約４時間で動作を停止します。
- 長時間ご使用にならないときは、無線装置本体の電源を切り、必ず充電器の電源プラグを持ってコンセントから抜いてください。
  充電していないときも、約２Ｗの電力を消費しています。

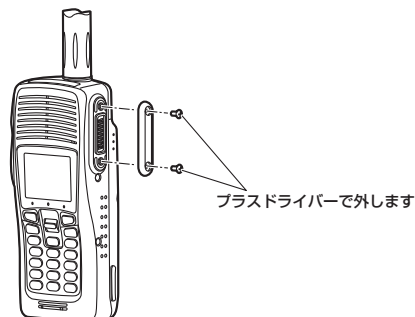
ソフトケースへの入れかた

無線装置本体をソフトケースの奥まで確実に入れて、図のようにホックでとめてください。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　／大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

お使いになる前に

ショルダーベルトの取り付けかた

図のようにショルダーベルトを取り付け、無線装置のアンテナ部分をショルダーベルトのホックでとめてください。

外部接続端子カバーの外しかた

図のようにネジ２本を外すと、外部接続端子カバーが外れます。

- 外部接続端子カバーと取り付けネジは、大切に保管してください。
- 外部接続端子に機器を接続しないときは、必ず外部接続端子カバーを取り付けてください。

電源を入れる

無線装置を起動します。

1 ☎/電源キーを長押しする

約２秒間押してください。

2 無線装置の画面が点灯する

3 移動局情報が登録される

右記画面が表示され、移動局情報がダウンロードされます。

前回起動時から移動局情報に変更が無い場合は、本画面は表示されません。

4 使用可能な状態になる

初期状態の待ち受け画面が表示されます。

電池残量や電波の状態を確認してください。

ワンポイント

- ☎/電源キーを押してから約５秒後に使用可能な状態になります。（移動局情報の登録が行われない場合）
- 電源を切るときは、再度☎/電源キーを長押ししてください。「電源オフ」というメッセージを表示し、約５秒後に電源が切れます。
- 電源を入れる前に、電池パックの充電やアンテナの取り付け確認などの事前準備を行ってください。準備に関する詳細は、「お使いになる前に」（20 ページ）を参照してください。
- 電池パックを交換する際は、いったん電源を切ってから交換してください。
- 電源を切る前にキーロックを設定していた場合は、電源を再度入れたときもキーロックの設定が継続されます。キーロックに関する詳細は、「キーロックを設定する」（72 ページ）を参照してください。
- 待ち受け画面には、通信モード、発信先番号または名称、設定によって通信時限、自ゾーン、自局状態などが表示されます。その他、無線機モードを示すスピーカーマークや本体の温度上昇を警告する温度マークが表示される場合があります。
- 単一無線ゾーン運用時は、画面に「制限」と表示されます。
- 管外ゾーン捕捉時は、画面に「グ×」と表示されます。この場合、通信は個別通信しか行えません。

通信モードを切り替えて発信する

発信したい通信モードに切り替えて、通信を開始します。

1 （モード）キーを押す

キーを押すごとに、通信モードが順次切り替わります。

全グループ→グループ→個別→電話→全グループ一斉→…(システム定数で内容の変更可)

発信したいモードを選択してください。

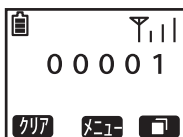
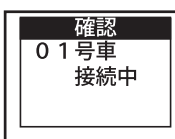
2 相手先番号を入力する

通信モードがグループまたは個別の場合は、テンキーを押して発信先の個別番号を入力してください。

（クリア）キー（クリア）を押すと、入力中の番号の最後の数字が消去されます。
更に押し続けると、入力中の番号の全ての数字が消去されます。

3 プレストークスイッチを押す

表示中の番号に対して発呼します。

確認
０１号車
接続中

4 通話を開始する

通信接続が成功すると、「ピッピー」という音が鳴り、通話マークが点灯します。

画面に通話残時間が表示され、通話が可能な状態になります。

ワンポイント

- 発信番号を直接入力するのではなく、局番号帳を利用したい場合は、「局番号帳を利用して発信する」（27 ページ）を参照してください。

通信モードを切り替えて発信する

5 通話を行う

プレストークスイッチを押しながらお話ししてください。

「ピッ」という通話指示音が鳴り、送信マークが点灯したら、送話することができます。

6 通話を聞く

プレストークスイッチを離してください。

相手が送話を始めると、話中マークが点灯し、相手の音声が聞こえてきます。

相手局の送話が終了すると、話中マークが消灯し、通話マークが再度点灯します。

7 通話を終了する

（電話）キーを押してください。

通信接続を終了し、画面は待ち受け画面に戻ります。

ワンポイント

- プレストークスイッチを押したときに「プップップッ」という無効音が鳴った場合は、不当な番号（範囲外数値など）が入力されているおそれがありますので、番号をご確認のうえ、再度同様の操作を行ってください。
- 接続に失敗したときは「プップップッ」という失敗音が鳴り（話し中の場合は「プープー…」というビジートーン）、画面に理由を示すメッセージが表示されます。内容をご確認のうえ、再度同様の操作を行ってください。
- 回線が混み合っているときは「ピーポーパー」という予約音が鳴り、画面に予約を知らせるメッセージが表示されます。予約が解除されるまでしばらくお待ちください。
- 通信開始後に通話を行おうとした際に、送信権の獲得に失敗すると「プップップッ」という失敗音が鳴ります。その場合は、話中マークが点灯していないかどうかを確認後、再度プレストークスイッチを押してください。
- 通話制限時間が経過すると、通信が終了になります。制限時間の約 10 秒前に「ピッ」という終話予告音が鳴り、その後「プー」という終話音と共に通信が終了します。単信通信時は、誰も通話を行わない状態が５秒間継続すると、自動的に通信が終了します。
- 発着信を連続で行い、送信動作状態が長く継続すると、無線装置の温度が上昇します。電池の節約や温度負荷軽減のために、このような運用は極力行わないようにしてください。
- 温度上昇や電池残量不足で運用に支障が発生するおそれがあると、警告音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。詳細は、「警告表示を行う」（73 ページ）を参照してください。
- 通話モードが「電話機モード」の場合、単信通信中はプレスを促す押マークが表示されます。

局番号帳を利用して発信する

あらかじめ相手局の情報を登録したアドレス帳を利用して、通信を開始します。

1 キー（ ）を押す

右記画面が表示されます。

ヨミ検索
[ ] から
検索開始
クリア ◆ 入力 カナ

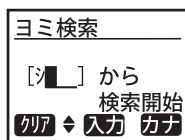
2 文字を入力する

テンキーを押して、検索したい局名称を入力してください。最大４文字まで入力できます。

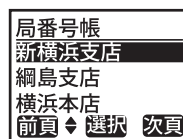
ヨミ検索
[シ] から
検索開始
クリア ◆ 入力 カナ

キー（カナ）を押すと、入力モードがカナ→英字→数字→・・・の順に切り替わります。

キー（クリア）を押すと、入力中の最後の文字が消去されます。更に押し続けると、入力中の全ての文字が消去されます。

キー（入力）を押すと、現在入力中の文字が確定されます。

3 矢印キーを押す

局番号帳に登録されたよみがなの順に頭出し検索を行い、右記の局番号帳が表示されます。

局番号帳
新横浜支店
綱島支店
横浜本店
前頁 ◆ 選択 次頁

矢印キーを押すと、カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。
更に押し続けると、３頁飛びでの連続表示が行われます。

キー（前頁）／キー（次頁）を押すと、現在の表示画面の改頁を行います。

キー（選択）を押すと、メニュー画面に移行します。

局番号帳を利用して発信する

4 プレストークスイッチを押す

表示中の番号に対して通信を始めます。

以降の発信動作は、「通信モードを切り替えて発信する」（25 ページ）を参照してください。

ワンポイント

- 局番号帳に登録可能な件数は、最大 500 件です。
- 局番号帳には、名称や番号以外にもさまざまな内容を登録することができます。内容に関する詳細は、「局番号帳の詳細情報を確認する」（70 ページ）を参照してください。

全グループ通信を受ける

他局からの全グループ通信を受け、通話を行います。

1 話中マークが点灯する

全グループ通信が着信すると、画面が着信を知らせる状態になります。
画面上に通話残時間が表示され、全グループ通信が開始します。

話中
01号車
ﾓｰﾄﾞ：全グ 00:59
停止 ﾒﾆｭｰ セレ

2 通話を聞く

そのままで通話を聞くことができます。
他局が送話を行っている場合は、話中マークが点灯し、相手局の音声が聞こえてきます。
相手局の送話が終了すると、話中マークが消灯し、通話マークが点灯します。

3 通話を行う

プレストークスイッチを押しながらお話ししてください。

送信権が獲得できた場合は、「ピッ」という通話指示音が鳴り、送信マークが点灯し、送話することができます。

ワンポイント

- 全グループ通信は、同一ユーザー内の全局が対象の通信です。
- 全グループ通信では、着信側が[電話]キーを押しても通話を終了することはできません。（発信側が終了するか、一定時間誰も通話を行わなかった場合に自動終了）ただし、この場合は、現通信から自局のみ離脱することができます。
- 通信開始後に通話を行おうとした際に、送信権の獲得に失敗すると「ブッブッブッ」という失敗音が鳴ります。この場合は、話中マークが点灯していないかどうかを確認後、再度プレストークスイッチを押してください。
- 発着信を連続で行い、送信動作状態が長く継続すると、無線装置の温度が上昇します。電池の節約や温度負荷軽減のために、このような運用は極力行わないようにしてください。
- 温度上昇や電池残量不足で運用に支障が発生するおそれがあると、警告音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。詳細は、「警告表示を行う」（73 ページ）を参照してください。
- 通話モードが「電話機モード」の場合、単信通信中はプレスを促す押マークが表示されます。

グループ通信を受ける

他局からのグループ通信を受け、通話を行います。

1 話中マークが点灯する

グループ通信が着信すると、画面が着信を知らせる状態になります。
画面上に通話残時間が表示され、グループ通信が開始します。

2 通話を聞く

そのままで通話を聞くことができます。
他局が送話を行っている場合は、話中マークが点灯し、相手局の音声が聞こえてきます。
相手局の送話が終了すると、話中マークが消灯し、通話マークが点灯します。

話中
01号車
ﾓｰﾄﾞ：グル 00:41
停止 ﾒﾆｭｰ セレ

3 通話を行う

プレストークスイッチを押しながらお話ししてください。

送信権が獲得できた場合は、「ピッ」という通話指示音が鳴り、送信マークが点灯し、送話することができます。

ワンポイント

- グループ通信は、同一ユーザー内の全局を特定のグループに分けて行う通信です。
- グループ通信では、着信側が[電話]キーを押しても通話を終了することはできません。（発信側が終了するか、一定時間誰も通話を行わなかった場合に自動終了）ただし、この場合は、現通信から自局のみ離脱することができます。
- 通信開始後に通話を行おうとした際に、送信権の獲得に失敗すると「ブッブッブッ」という失敗音が鳴ります。この場合は、話中マークが点灯していないかどうかを確認後、再度プレストークスイッチを押してください。
- 発着信を連続で行い、送信動作状態が長く継続すると、無線装置の温度が上昇します。電池の節約や温度負荷軽減のために、このような運用は極力行わないようにしてください。
- 温度上昇や電池残量不足で運用に支障が発生するおそれがあると、警告音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。詳細は、「警告表示を行う」（73 ページ）を参照してください。
- 通話モードが「電話機モード」の場合、単信通信中はプレスを促す押マークが表示されます。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

個別通信を受ける

他局からの個別通信を受け、通話を行います。

1 「ピッポー」という着信音が鳴り、話中マークが点灯する

個別通信が着信すると、画面のバックライトが点灯し、着信を知らせる状態になります。

話中
01号車
ﾓｰﾄﾞ:個別 00:59
停止 メニュー

画面上に通話残時間が表示され、個別通信が開始します。

2 通話を聞く

そのままで通話を聞くことができます。

話中
01号車
ﾓｰﾄﾞ:個別 00:41
停止 メニュー

他局が送話を行っている場合は、話中マークが点灯し、相手局の音声が聞こえてきます。

相手局の送話が終了すると、話中マークが消灯し、通話マークが点灯します。

3 通話を行う

プレストークスイッチを押しながらお話ししてください。
送信権が獲得できた場合は、「ピッ」という通話指示音が鳴り、送信マークが点灯し、送話することができます。

ワンポイント

- 個別通信は、1対1で個別に行う通信です。
- 個別通信では、着信側でも(電源)キーを押して通話を終了することができます。（発信側が終了するか、一定時間誰も通話を行わなかった場合の自動終了に加えて）
- 通信開始後に通話を行おうとした際に、送信権の獲得に失敗すると「ブッブッブッ」という失敗音が鳴ります。この場合は、話中マークが点灯していないかどうかを確認後、再度プレストークスイッチを押してください。
- 発着信を連続で行い、送信動作状態が長く継続すると、無線装置の温度が上昇します。電池の節約や温度負荷軽減のために、このような運用は極力行わないようにしてください。
- 温度上昇や電池残量不足で運用に支障が発生するおそれがあると、警告音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。詳細は、「警告表示を行う」（73 ページ）を参照してください。
- 通話モードが「電話機モード」の場合、単信通信中はプレスを促す押マークが表示されます。

全グループ一斉通信を受ける

他局からの全グループ一斉通信を受け、通話を行います。

1 「ピーポーピーポー」という着信音が鳴り、話中マークが点灯する

全グループ一斉通信が着信すると、画面のバックライトが点灯し、着信を知らせる状態になります。

話中
01号車
ﾓｰﾄﾞ:一斉 00:59
停止 メニュー セレ

画面上に通話残時間が表示され、全グループ一斉通信が開始します。

2 通話を聞く

そのままで通話を聞くことができます。

他局が送話を行っている場合は、話中マークが点灯し、相手局の音声が聞こえてきます。

相手局の送話が終了すると、話中マークが消灯し、通話マークが点灯します。

3 通話を行う

プレストークスイッチを押しながらお話ししてください。
送信権が獲得できた場合は、「ピッ」という通話指示音が鳴り、送信マークが点灯し、送話することができます。

ワンポイント

- 全グループ一斉通信は、同一ユーザー内の全局の通信を強制的に終了させ、管理移動局から優先的に通話を行う通信です。
- 全グループ一斉通信では、着信側が(電源)キーを押しても通話を終了することはできません。（発信側が終了するか、一定時間誰も通話を行わなかった場合に自動終了）
- 通信開始後に通話を行おうとした際に、送信権の獲得に失敗すると「ブッブッブッ」という失敗音が鳴ります。この場合は、話中マークが点灯していないかどうかを確認後、再度プレストークスイッチを押してください。
- 発着信を連続で行い、送信動作状態が長く継続すると、無線装置の温度が上昇します。電池の節約や温度負荷軽減のために、このような運用は極力行わないようにしてください。
- 温度上昇や電池残量不足で運用に支障が発生するおそれがあると、警告音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。詳細は、「警告表示を行う」（73 ページ）を参照してください。
- 通話モードが「電話機モード」の場合、単信通信中はプレスを促す押マークが表示されます。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

システム一斉通信を受ける

各移動無線センター（中継局）からの一斉通信が着信します。

1 **「ピーポーピーポー」という着信音が鳴り、話中マークが点灯する**

システム一斉通信が着信すると、画面のバックライトが点灯し、着信を知らせる状態になります。

画面上に通話残時間が表示され、システム一斉通信が開始します。

2 **通話を聞く**

そのままで通話を聞くことができます。

システム一斉通信中は、話中マークが点灯し、中継局からの音声が聞こえてきます。

ワンポイント

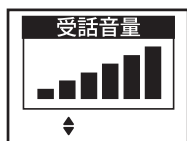
- システム一斉通信は、各移動無線センター（中継局）から優先的に通話を行う通信です。
- システム一斉通信中は、自局からの通話は行えません。
- システム一斉通信では、着信側が（電源）キーを押しても通話を終了することはできません。（発信側が終了するか、一定時間誰も通話を行わなかった場合に自動終了）
- 温度上昇や電池残量不足で運用に支障が発生するおそれがあると、警告音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。詳細は、「警告表示を行う」（73 ページ）を参照してください。

受話音量を調節する

通話時の受話音量の大きさを調整します。

1 **通信中に矢印キーを押す**

▼キーで小さく、▲キーで大きくなります。

音量レベルは、６段階で画面に表示されます。

ワンポイント

- 受話音量の調節は、基本的に発信動作に入ってから可能となります。
- 待ち受け時には、通話に入った直後の音量をあらかじめ設定しておくことができます。その場合には、待ち受け画面で（メニュー）キー（メニュー）を押し、メニュー画面で「９音量調整」を選択します。そこで左記と同様の操作を行ってください。ただし、電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。
- 伝言メモや通話メモの再生時にも、音量の調整が可能です。

リダイヤルする

以前に発信した相手局の中から番号を選択し、再度発信することができます。

1 キー（ ）を押す

最新の発信履歴が表示されます。通信モード、相手局番号または名称が基本的な表示内容です。

発信履歴
０１号車
全グループ
全グー斉
クリア ◆ 選択 切替

矢印キーを押すとカーソルが移動し、最大 10 件までの履歴が表示されます。
▼キーで次の履歴、▲キーで前の履歴となります。

2 プレストークスイッチを押す

表示中の番号に対して発呼します。

確認
０１号車
接続中

ワンポイント

- 履歴は、新しいものから順に格納され、メモリーが満杯になると一番古い内容が自動的に消去されます。
- 同一の発信内容は連続で格納されません。（ただし、設定によって連続格納への変更も可能）
- 履歴を表示中にキー（クリア）を押すと、内容が消去され、「発信履歴を全件消去しました」というメッセージが表示されます。
- 発信及び着信履歴が共に無い場合は、待ち受け画面で履歴表示を行おうとした際に「履歴が１件もありません」というメッセージが表示されます。
- キー（選択）を押すと、メニュー画面に移行します。履歴の相手局に対してメール送信や伝言メモ録音などが行えます。
- キー（切替）を押すと、着信履歴が表示されます。ただし、着信履歴が無い場合は表示されません。
- 発信失敗時は「プップップッ」という失敗音（話し中の場合は「プープー…」というビジートーン）が鳴り、画面に理由を示すメッセージが表示されます。内容をご確認のうえ、再度同様の操作を行ってください。
- 電源を切っても内容は保存されます。ただし、電源を切る前に電池を外してしまうと、内容を保持することができません。
- 温度上昇や電池残量不足で運用に支障が発生するおそれがあると、警告音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。詳細は、「警告表示を行う」（73 ページ）を参照してください。

コールバックする

以前に着信した相手局の中から番号を選択し、かけなおすことができます。

1 キー（ ）を押す

最新の発信履歴が表示されます。

発信履歴
０１号車
全グループ
全グー斉
クリア ◆ 選択 切替

2 （切替）キーを押す

最新の着信履歴が表示されます。通信モード、相手局番号または名称が基本的な表示内容です。

着信履歴
０１号車
１２号車
個別００１２３
クリア ◆ 選択 切替

矢印キーを押すとカーソルが移動し、最大 10 件までの履歴が表示されます。
▼キーで次の履歴、▲キーで前の履歴となります。

3 プレストークスイッチを押す

表示中の番号に対して発呼します。

確認
０１号車
接続中

ワンポイント

- 履歴は新しいものから順に格納され、メモリーが満杯になると一番古い内容が自動的に消去されます。
- 履歴を表示中にキー（クリア）を押すと、内容が消去され、「着信履歴を全件消去しました」というメッセージが表示されます。
- 発信及び着信履歴が共に無い場合は、待ち受け画面で履歴表示を行おうとした際に「履歴が１件もありません」というメッセージが表示されます。また、発信履歴のみが無い場合は、待ち受けから着信履歴の表示画面に直接移行します。
- キー（選択）を押すと、メニュー画面に移行します。履歴の相手局に対してメール送信や伝言メモ録音などが行えます。
- キー（切替）を押すと、発信履歴が表示されます。ただし、発信履歴が無い場合は表示されません。
- 発信失敗時は「プップップッ」という失敗音（話し中の場合は「プープー…」というビジートーン）が鳴り、画面に理由を示すメッセージが表示されます。内容をご確認のうえ、再度同様の操作を行ってください。
- 電源を切っても内容は保存されます。ただし、電源を切る前に電池を外してしまうと、内容を保持することができません。
- 温度上昇や電池残量不足で運用に支障が発生するおそれがあると、警告音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。詳細は、「警告表示を行う」（73 ページ）を参照してください。

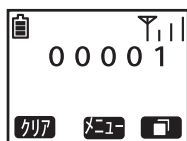
株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

セレコールを送信する

不在の相手局に対し折り返しの連絡が欲しい際に、それを知らせる着信表示を行います。

1 待ち受け画面で相手局番号を入力する

送信したい相手局番号を入力します。

00001
クリア　メニュー

2 (送信)キーを押す

右記画面が表示されます。

確認
00001
接続中

3 セレコールが送信される

送信に成功すると、「ピッポー」という音が鳴り、右記画面が表示されます。

確認
成功

ワンポイント

- セレコールは、相手局の画面上に自局番号を表示させ、その状態でプレストークスイッチを押すと簡単に折り返しの接続が行える機能です。
- 相手局番号を直接入力する代わりに、局番号帳を利用して相手局を指定することもできます。局番号帳に関する詳細は、「局番号帳を利用して発信する」（27 ページ）を参照してください。
- セレコールを送信する際は、待ち受け画面で設定されたモードで発呼します。
- セレコールの送信に失敗すると、「ピー」という失敗音が鳴り、画面に失敗内容を示すメッセージが表示されます。詳細は、「メッセージ一覧」（78 ページ）を参照してください。

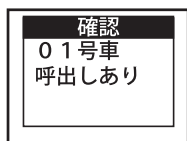
セレコールを受信する

折り返しの連絡が欲しい際に、相手局が自局に対しそれを知らせる着信表示を行います。

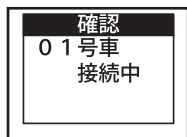
1 「ピッポー」という着信音が３回鳴り、画面が表示される

セレコールを受信すると、画面のバックライトが点灯し、受信を知らせる状態になります。

確認
０１号車
呼出しあり

画面上には、相手局の番号または名称が表示され、何らかの操作が行われるまで、その画面が持続します。

2 プレストークスイッチを押す

セレコールを発信した相手局に対し、折り返し発呼します。

確認
０１号車
接続中

3 通話を開始する

通信接続が成功すると、右記画面が表示されます。

通常の発呼時と同様に通話を行うことができます。

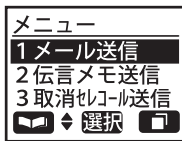
ワンポイント

- セレコール受信時の画面の持続時間（無制限／１時間）は、送信局側の設定によって決定されます。
- セレコール受信画面が未確認のまま通常画面に戻る際は、その内容が着信履歴に格納されます。
- 折り返し発呼を行う際、セレコールを受信した時のモードによって発呼モードが変わります。
  - ①受信時モードが「個別」：個別モードで発呼
  - ②受信時モードが「グループ」：グループモードで発呼
  - ③受信時モードが「全グループ」：全グループモードで発呼
  - ④受信時モードが「全グループ一斉」：全グループモードで発呼（システム定数で内容の変更可）
- 「ピッポー」という鳴音を鳴らすだけのセレコール受信もあります。その際は、プレストークスイッチを押しても相手局に折り返し接続を行わず、通常の自局の待ち受け画面表示時に行われている発呼と同様になります。

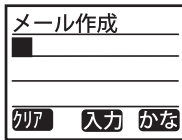
株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

メールを送信する

相手局にメールを送信します。

1 待ち受け画面で相手局番号を入力後、キー（メニュー）を押す

右記画面が表示されます。

2 キー（選択）を押す

メールの作成を行う右記画面が表示されます。

3 文字を入力する

送信したいメールの内容を入力してください。

メール作成に関する詳細は、「かな漢字変換を行う」（40 ページ）を参照してください。

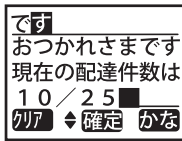
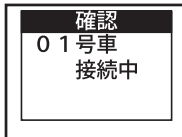
です
おつかれさまです
現在の配達件数は
10／25
クリア 確定 かな

4 送信キーを押す

右記画面が表示されます。

5 メールが送信される

送信に成功すると、「ピッポー」という音が鳴り、右記画面が表示されます。

確認
メールを
送信しました

ワンポイント

- 相手局番号を直接入力する代わりに、局番号帳を利用して相手局を指定することもできます。
  局番号帳に関する詳細は、「局番号帳を利用して発信する」（27 ページ）を参照してください。
- メールを送信する際は、待ち受け画面で設定されたモードで発呼します。
- メールの送信に失敗すると、「ピー」という失敗音が鳴り、画面に失敗内容を示すメッセージが表示されます。
  詳細は、「メッセージ一覧」（78 ページ）を参照してください。

かな漢字変換を行う

送信メールの内容をかな漢字で入力します。

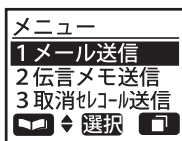
1 キー（メニュー）を押す

メール作成時のみ、かな漢字入力機能が使用できます。

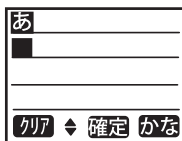
「1 メール送信」にカーソルを合わせてください。

2 キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。

メール作成
クリア 入力 かな

3 テンキーを押す

全角ひらがな、全角カタカナ、英字、数字、記号、定型文が入力できます。文字の入力に関する主なキー操作は次の通りです。

あ
クリア 確定 かな

（メニューキー）：入力モードの切り替え
（かな漢字→カナ→英字→数字→定型文→ ·····）

（＊）（＃）：カーソル移動（左／右）

矢印キー：変換（かな漢字モードのみ）
検索（定型文モードのみ）

テンキー：モード別に文字入力（下表参照）

文字の割り付け一覧

キー	かな入力	カナ入力	英字入力	数字入力
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ		1
2 ABC	かきくけこ	カキクケコ	ABCabc	2
3 DEF	さしすせそ	サシスセソ	DEFdef	3
4 GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	GHIghi	4
5 JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	JKLjkl	5
6 MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	MNOmno	6
7 PQRS	まみむめも	マミムメモ	PQRSpqrs	7
8 TUV	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	TUVtuv	8
9 WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	WXYZwxyz	9
0	わをん゛゜ー、。↓（改行）	ワヲン゛゜ー、。↓（改行）	-!?:()%＆ ￥+,/*#>	0

かな漢字変換を行う

かな漢字モードでテンキーを押すと、最上段の「メール作成」の文字が消去され、入力した文字が表示されます。

あかい
クリア 確定 かな

例えば、①キーを連続で押すと「あ」から順に「ぉ」までが表示されます。その後、②キーを押すと、カーソルが右に移動し、「か」が表示されます。
８文字目では、カーソルがそれ以上は移動せず、その文字を上書きします。
いったん入力した文字を修正する場合は、カーソルをその位置まで移動させ、正しい文字で上書きしてください。

カナ、英字、数字モードのときは、２段目より下段に入力した文字が表示されます。

メール作成
カ
クリア 入力 カナ

テンキーでの入力方法は、かな漢字モードの場合と同様です。

定型文モードのときは、テンキー入力はできません。（矢印キーによる検索操作のみ可能）

4 矢印キーを押す

かな漢字モードのときに矢印キーを押すと、漢字や全角のかな文字などに変換されます。
変換された文字は、反転表示となります。
▼キーで次変換候補、▲キーで前変換候補が順次表示されます。

定型文モードのときに矢印キーを押すと、登録されている定型文が表示されます。
検索された定型文は、反転表示となります。
▼キーで次登録定型文、▲キーで前登録定型文が順次表示されます。

矢印キーは、かな漢字モードまたは定型文モード以外の入力モードでは無効です。

かな漢字変換を行う

ワンポイント

- 最大全角 24 文字（全角８文字×３段）入力することができます。
- 24 文字目が入力確定されているときは、カーソルがそれ以上移動せず、次に入力した文字は、24 文字目を上書きします。
- 定型文を選択したときに 24 文字を超える場合は、24 文字目までを表示します。
- 前回送信したメールがある場合は、その本文が最終登録の定型文として定型文を検索するときに表示され、選択することができます。
- 定型文が 1 件も登録されてない場合は、入力モードを切り替えるときに定型が表示されません。

5 キー（確定）を押す

変換した文字が確定されます。

メール作成
赤い
クリア 入力 かな

確定した文字は、下段に表示されます。
最上段には「メール作成」の文字が再度表示されます。

カナ、英字、定型文モードのときにキー（入力）を押すと、入力した文字や検索した定型文を確定することができます。（カーソルが１つ右に移動）

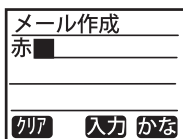
かな漢字変換を行う

6 (クリア)キー（クリア）を押す

入力された文字が消去されます。
かな漢字モードのときは、確定前の文字（最上段）、確定した文字（下段）の順に消去されます。

漢字変換中で最上段が反転表示しているときは、変換が解除されます。
消去には、以下のパターンがあります。

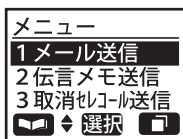
1 回押し：カーソル上の文字が消えます。
（右に文字があればつめる）
カーソル上に文字がなければ、１つ左の文字が消えます。（カーソルが左に移動）

長押し：入力文字が全部消えます。
（かな漢字モードでは、上下段ごとに全消去）

ワンポイント

- 入力した文字が未確定のときに入力モードを変更すると、未確定の文字が確定し、カーソルが１つ右に移動してから入力モードが切り替わります。
- かな漢字モードで文字が確定したときに 24 文字を超える場合は、24 文字目までを表示します。
- かな漢字モードの場合、最上段の文字を入力中に(クリア)キー（クリア）を押して、入力中の文字を全消去すると、「メール作成」の文字が再度表示されます。
- 作成したメールの送信方法に関する詳細は、「メールを送信する」（39 ページ）を参照してください。

伝言メモを送信する

相手局の留守録にメッセージを録音します。

1 待ち受け画面で相手局番号を入力後、(メニュー)キー（メニュー）を押す

右記画面が表示されます。

2 矢印キーを押す

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。
「２伝言メモ送信」にカーソルを合わせてください。

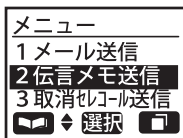
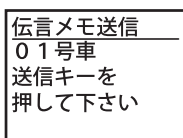
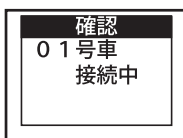
3 (選択)キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。

伝言メモ送信
０１号車
送信キーを
押して下さい

4 (送信)キーを押す

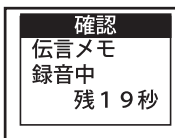
右記画面が表示されます。

確認
０１号車
接続中

5 メッセージを録音する

送信に成功すると、「ピッポー」という音が鳴り、右記画面が表示されます。

確認
伝言メモ
録音中
残１９秒

プレストークスイッチを押しながらお話ししてください。

画面には、録音可能な残時間が表示され、その時間内で相手局にメッセージが録音できます。

ワンポイント

- (メニュー)キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに(2ABC)キーを押すと、伝言メモ送信画面に直接移行します。
- 相手局番号を直接入力する代わりに、局番号帳を利用して相手局を指定することもできます。局番号帳に関する詳細は、「局番号帳を利用して発信する」（27 ページ）を参照してください。
- 伝言メモを送信する際は、待ち受け画面で設定されたモードで発呼します。
- 伝言メモの送信に失敗すると、「ピー」という失敗音が鳴り、画面に失敗内容を示すメッセージが表示されます。詳細は、「メッセージ一覧」（78 ページ）を参照してください。
- 伝言メモの録音時間や録音件数は設定によって異なります。設定に関する詳細は、「桁数・件数一覧」（74 ページ）を参照してください。

取消セレコールを送信する

自局から送信したセレコールを取り消しします。

1 **待ち受け画面で相手局番号を入力後、(□)キー（メニュー）を押す**

右記画面が表示されます。

メニュー
1メール送信
2伝言メモ送信
3取消セレコール送信
選択

2 **矢印キーを押す**

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「3取消セレコール送信」にカーソルを合わせてください。

メニュー
1メール送信
2伝言メモ送信
3取消セレコール送信
選択

3 **(□)キー（選択）を押す**

右記画面が表示されます。

取消セレコール送信
01号車
送信キーを
押して下さい

4 **(送信)キーを押す**

右記画面が表示されます。

5 **セレコールが取り消される**

取り消しに成功すると、「ピッポー」という音が鳴り、右記画面が表示されます。

確認
成功

ワンポイント

- (□)キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに(3)キーを押すと、取消セレコール送信画面に直接移行します。
- 相手局番号を直接入力する代わりに、局番号帳を利用して相手局を指定することもできます。
  局番号帳に関する詳細は、「局番号帳を利用して発信する」（27ページ）を参照してください。
- 取消セレコールを送信する際は、待ち受け画面で設定されたモードで発呼します。
- セレコールの取り消しに失敗すると、「ピー」という失敗音が鳴り、画面に失敗内容を示すメッセージが表示されます。
  詳細は、「メッセージ一覧」（78ページ）を参照してください。

受信メールの履歴を確認する

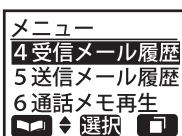
受信したメールの履歴を確認し、メールの返信ができます。

1 **(□)キー（メニュー）を押す**

右記画面が表示されます。

2 **矢印キーを押す**

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「4受信メール履歴」にカーソルを合わせてください。

3 **(□)キー（選択）を押す**

右記画面が表示されます。

受信した相手局番号または名称が表示され、その前にメールか伝言メモかを示すマークが付いています。

メールマーク　：✉（未読）／✉（既読）
伝言メモマーク：（未確認）／（確認済）

4 **(□)キー（選択）を押す**

受信したメールの本文が表示されます。

受信メール本文
001：
現在の配達状況と
残件数、完了予定
クリア 発呼 返信

ワンポイント

- (□)キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに(4)キーを押すと、受信メール履歴画面に直接移行します。
- 履歴は新しいものから順に最大10件まで格納されます。メモリーが満杯になると、既読で一番古い内容から自動的に消去されます。（設定によって、消去されないパターンも選択可）
- (□)キー（切替）を押すと、送信メール履歴が表示されます。ただし、履歴が無い場合は「送信メールはありません」というメッセージが表示されます。

受信メールの履歴を確認する

5 **矢印キーを押す**

メールに続きがある場合は、その内容が表示されます。

受信メール本文
時間を連絡して下
さい。午後２時ま
でにお願いします
クリア ⬍ 発呼 返信

▼キーで次頁、▲キーで前頁となります。

6 **キー（返信）を押す**

新たにメールを作成するための画面に移行します。

メールの作成に関する詳細は、「かな漢字変換を行う」（40 ページ）を参照してください。

ワンポイント

- メールの内容を表示しているときにキー（クリア）を押すと、そのメールが消去され、「受信メールを１件消去しました」というメッセージが表示されます。更に押し続けると、メール及び伝言メモを全件消去することができます。ただし、未読の内容は、消去することができません。
- キー（発呼）を押すと、メールを受信した相手局に対して発呼します。
- メールの確認が完了すると、確認状況を示すマークが未読から既読に更新されます。ただし、受信したメールが複数のページにまたがる場合は、最終ページまで確認した際に既読扱いとなります。
- 電源を切っても内容は保存されます。ただし、電源を切る前に電池を外してしまうと、内容を保持することができません。

送信メールの履歴を確認する

送信したメールの履歴を確認し、メールの再送信ができます。

1 **キー（メニュー）を押す**

右記画面が表示されます。

2 **矢印キーを押す**

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「５送信メール履歴」にカーソルを合わせてください。

3 **キー（選択）を押す**

右記画面が表示されます。

送信した相手局番号または名称が表示され、その前に送信済み（○）か未送信（×）かを示すマークが付いています。

4 **矢印キーを押す**

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

ワンポイント

- キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに５キーを押すと、送信メール履歴画面に直接移行します。
- 履歴は新しいものから順に最大 10 件まで格納されます。メモリーが満杯になると一番古い内容から自動的に消去されます。
- キー（切替）を押すと、受信メール履歴が表示されます。ただし、履歴が無い場合は「受信メールはありません」というメッセージが表示されます。

送信メールの履歴を確認する

5 キー（選択）を押す

送信したメールの本文が表示されます。

送信メール本文
積荷配達中１０件
配達済み１００件
積荷あり
クリア　発呼　再送

6 キー（再送）を押す

再度メールの送信が開始されます。

確認
１２号車
接続中

ワンポイント

- メールの内容を表示しているときにキー（クリア）を押すと、そのメールが消去され、「送信メールを１件消去しました」というメッセージが表示されます。更に押し続けると、メールを全件消去することができます。
- キー（発呼）を押すと、メールを送信した相手局に対して発呼します。
- 再送信が完了すると、送信状況を示すマークが×から○に更新されます。
- 電源を切っても内容は保存されます。ただし、電源を切る前に電池を外してしまうと、内容を保持することができません。

伝言メモを受信する

相手局から自局に対して留守録メッセージが録音されます。

1 「ピッポー」という着信音が３回鳴り、画面が表示される

伝言メモを受信すると、画面のバックライトが点灯し、録音が開始されます。

確認
伝言メモ
録音中
残１９秒

画面上には、録音残時間が表示されます。

2 録音が終了する

録音残時間が０秒に達するか相手局が録音を終了すると、画面は通常の通話画面に移行します。

確認
伝言メモ
録音中
残　０秒

ワンポイント

- 伝言メモの録音時間や録音件数は、設定によって異なります。設定に関する詳細は、「桁数・件数一覧」（74ページ）を参照してください。
- 伝言メモの再生に関する詳細は、「伝言メモを再生する」（51ページ）を参照してください。

伝言メモを再生する

相手局から自局宛に録音された留守録メッセージを再生します。

1 キー（メニュー）を押す

右記画面が表示されます。

2 矢印キーを押す

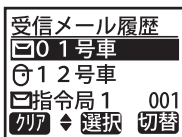
カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「４受信メール履歴」にカーソルを合わせてください。

3 キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。

受信した相手局番号または名称が表示され、その前にメールか伝言メモかを示すマークが付いています。

メールマーク　：（未読）／（既読）
伝言メモマーク：（未確認）／（確認済）

4 矢印キーを押す

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

ワンポイント

- キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに4キーを押すと、受信メール履歴画面に直接移行します。
- 履歴は新しいものから順に最大10件まで格納されます。メモリーが満杯になると、既読で一番古い内容から自動的に消去されます。(設定によって、消去されないパターンも選択可)
- キー（切替）を押すと、送信メール履歴が表示されます。ただし、履歴が無い場合は「送信メールはありません」というメッセージが表示されます。

伝言メモを再生する

5 キー（選択）を押す

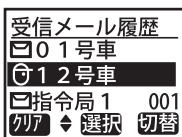
右記画面が表示され、伝言メモの再生が開始されます。

伝言メモ再生
再生中
ｸﾘｱ 発呼 停止

矢印キーを押すと、音量が調整されます。
▼キーで小さく、▲キーで大きくなります。

6 キー（停止）を押す

右記画面が表示され、再生が停止します。

画面は元の画面に戻り、伝言メモマークが未確認から確認済みに更新されます。

ワンポイント

- 伝言メモを再生しているときにキー（クリア）を押すと、そのメモが消去され、「受信メールを1件消去しました」というメッセージが表示されます。更に押し続けると、メール及び伝言メモを全件消去することができます。ただし、未読の内容は、消去することができません。
- キー（発呼）を押すと、メールを受信した相手局に対して発呼します。
- 電源を切っても内容は保存されます。ただし、電源を切る前に電池を外してしまうと、内容を保持することができません。

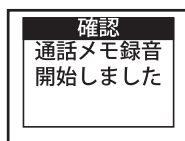
株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

通話メモを録音する

自局の通信時の通話内容を録音します。

1 **通話中に（　）キー（録音）を押す**

右記画面が表示されます。

確認
通話メモ録音
開始しました

2 **録音を開始する**

画面は通話画面に戻り、新たにテープマークが点灯します。

話中
０１号車
ﾓｰﾄﾞ：全グ 00:55
停止 ﾒﾆｭｰ セレ

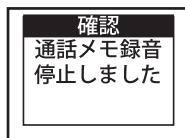
3 **（　）キー（停止）を押す**

右記画面が表示されます。

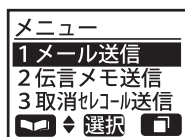
その後、画面は通話画面に戻り、画面上のテープマークが消灯し、通話メモ録音が停止します。

確認
通話メモ録音
停止しました

ワンポイント

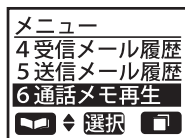
- 通話メモの録音時間は、設定によって異なります。時間設定に関する詳細は、「桁数・件数一覧」（74 ページ）を参照してください。
- 通話メモに録音される内容は、録音停止直前の規定秒数となります。録音は常に上書きされ、最新の内容が残されます。
- 録音をいったん停止してから再開した際は、前回分のメモの内容が消去されます。
- 単信時は、通話中のみ録音されます。
- 複信時は、相手局の音声のみが録音されます。

通話メモを再生する

通話中にメモ録音をした内容を再生します。

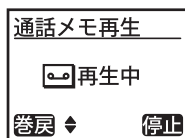
1 **（　）キー（メニュー）を押す**

右記画面が表示されます。

2 **矢印キーを押す**

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「6 通話メモ再生」にカーソルを合わせてください。

3 **（　）キー（選択）を押す**

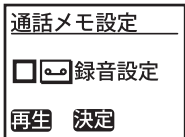
右記画面が表示され、通話メモの再生が開始されます。

矢印キーを押すと、音量が調整されます。
▼キーで小さく、▲キーで大きくなります。

通話メモ再生
再生中
巻戻　停止

4 **（　）キー（停止）を押す**

右記画面が表示され、再生が停止します。

通話メモの録音設定は、自動的に解除されますので、新たに録音したい場合は、再度設定を行ってください。
設定に関する詳細は、「通話メモを設定する」（55 ページ）を参照してください。

通話メモ設定
□ 録音設定
再生　決定

ワンポイント

- （　）キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに（6）キーを押すと、通話メモ再生画面に直接移行します。
- 通話メモの録音時間は、設定によって異なります。時間設定に関する詳細は、「桁数・件数一覧」（74 ページ）を参照してください。
- 通話メモに録音される内容は、録音停止直前の規定秒数となります。録音は常に上書きされ、最新の内容が残されます。
- 通話メモが録音されていない場合は、再生は行われません。
- （　）キー（巻戻）を押すと、押した回数分の巻き戻し再生が行われます。1 回：20 秒／2 回：60 秒／3 回：120 秒前から再生され、規定秒数の設定を超えたら、先頭から開始されます。（　）キー（巻戻）を長押しした場合は、先頭から再生されます。

通話メモを設定する

通話中にメモ録音ができる設定を行います。

1 （メニュー）キー（メニュー）を押す

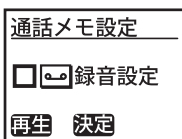
右記画面が表示されます。

2 矢印キーを押す

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「７通話メモ設定」にカーソルを合わせてください。

メニュー
7通話メモ設定
8自ゾーン切替
9音量調整
選択

3 キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。

既に設定が行われている場合は、ボックスにチェックマークが付き、画面には「録音解除」と表示されます。

□録音設定
再生　決定

4 決定キーを押す

「プププ」という設定完了音が鳴り、右記画面が表示されます。

その後、画面は待ち受け画面に戻り、新たに設定中である状態を示すテープマークが表示されます。

確認
通話メモ録音
開始しました

ワンポイント

- キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに（7）キーを押すと、通話メモ設定画面に直接移行します。
- 設定された状態を解除したい場合は、設定中に上記と同様の操作を行ってください。「プププ」という設定完了音が鳴り、「通話メモ録音停止しました」というメッセージが表示されます。その後、待ち受け画面に戻ると、表示されていたテープマークが消去されます。
- キー（再生）を押すと、通話メモが再生されます。再生に関する詳細は、「通話メモを再生する」（54 ページ）を参照してください。

自ゾーンを切り替える

自局が通信を行いたいゾーンを変更します。

1 キー（メニュー）を押す

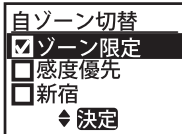
右記画面が表示されます。

2 矢印キーを押す

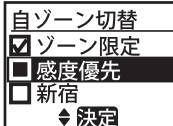
カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「８自ゾーン切替」にカーソルを合わせてください。

3 キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。

ボックスにチェックの入っている内容が、現在の自ゾーンの状態です。

4 矢印キーを押す

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

ワンポイント

- キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに（8）キーを押すと、自ゾーン切替画面に直接移行します。
- 自ゾーン切替画面には、ゾーンの名称または番号が表示されます。選択対象となるゾーンの登録可能な件数は、最大 300 件です。
- 具体的なゾーン名称や番号以外にも、以下の内容が表示されます。（表示する内容は保守設定により変更可）

  ①ゾーン限定：
  あらかじめ決められたゾーンの中で通信を行う

  ②感度優先：
  その場所で一番電波の強いゾーンを自動選択

  ③ホーム優先：
  ホームゾーンのエリアでは、ホームゾーンへ切り替えます。ホームゾーン以外のエリアでは、電波の強いゾーンへ切り替えます。

自ゾーンを切り替える

5 ▭キー（決定）を押す

右記画面を表示後、設定の成否が表示されます。成功すると「ププブ」という設定完了音が鳴り、自ゾーンを設定したという内容のメッセージが表示されます。

確認
ゾーン設定を
しています

その後、画面は待ち受け画面に戻り、新たな設定での運用を開始します。

ワンポイント

- 自ゾーン切り替えに失敗すると、「ピー」という失敗音が鳴り、「ゾーン設定に失敗しました」というメッセージが表示されます。
- 自ゾーン切り替え中は、発着信が行えません。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。
- 自局での変更ではなく、中継局からの移動局情報の更新などにより、運用中にゾーンが自動設定されることがあります。その際には、「ゾーン情報を更新しました」というメッセージが表示されます。

グループを設定する

自局が所属する通話グループを設定します。

1 ▭キー（メニュー）を押す

右記画面が表示されます。

2 矢印キーを押す

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「＊グループ設定」にカーソルを合わせてください。

3 ▭キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。

グループ設定
グループ番号を
入力して下さい
決定

4 番号を入力する

設定したいグループ番号をテンキーで入力してください。

入力範囲は１～999です。

▭キー（クリア）を押すと、入力中の番号の最後の数字が消去されます。更に押し続けると、入力中の番号の全ての数字が消去されます。

グループ設定
１００
ｸﾘｱ　決定

ワンポイント

- ▭キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに＊キーを押すと、グループ設定画面に直接移行します。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

グループを設定する

5 キー（決定）を押す

右記画面を表示後、設定の成否が表示されます。成功すると「ププ」という設定完了音が鳴り、「グループ設定をしました」というメッセージが表示されます。

確認
グループ設定
をしています

その後、画面は待ち受け画面に戻り、新たな設定での運用を開始します。

ワンポイント

- グループ設定に失敗すると、「ピー」という失敗音が鳴り、「グループ設定失敗しました」というメッセージが表示されます。
- グループ設定を行わないと、待ち受け画面で発信モードを切り替える際に、グループモードが表示されません。通信モードに関する詳細は、「通信モードを切り替えて発信する」（25ページ）を参照してください。
- グループ設定中は、発着信が行えません。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。

状態を設定する

自局の現在の状態を示す定型文が画面に表示されます。

1 キー（メニュー）を押す

右記画面が表示されます。

2 矢印キーを押す

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「＃状態設定」にカーソルを合わせてください。

3 キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。

ボックスにチェックの入っている定型文があれば、それが現在設定中の状態内容です。

4 矢印キーを押す

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

新たに設定したい状態の内容にカーソルを合わせてください。

ワンポイント

- キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずにキーを押すと、状態設定画面に直接移行します。
- 状態設定画面には、待ち受け画面で表示される定型文が表示されます。選択対象となる定型文の登録可能な件数は、最大20件です。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

状態を設定する

5 キー（決定）を押す

「ブブブ」という設定完了音が鳴り、右記画面が表示されます。

その後、画面は待ち受け画面に戻り、設定された内容が表示されます。

ワンポイント

- 設定された状態を解除したい場合は、一番先頭の「通知解除」を選択し、キー（決定）を押してください。「ブブブ」という設定完了音が鳴り、「状態を解除しました」というメッセージが表示されます。その後、待ち受け画面に戻ると、表示されていた状態が消去されます。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。

広域ゾーンを設定する

広域接続先のゾーンを設定します。

1 キー（メニュー）を押す

右記画面が表示されます。

2 矢印キーを押す

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「0その他」にカーソルを合わせてください。

3 キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。

4 キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。

広域ゾーン設定
1 八王子
2 横浜
3 新宿
決定　地域

ワンポイント

- キー（メニュー）押した後、矢印キーを押さずに0キーを押すと、その他の画面に直接移行します。
- キー（選択）を押した後、再度キー（選択）を押さずに1キーを押しても、広域ゾーン設定画面に直接移行します。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

広域ゾーンを設定する

5 キー（地域）を押す

右記画面が表示されます。

ボックスにチェックの入っているゾーンがあれば、それは現在設定中の広域ゾーンです。

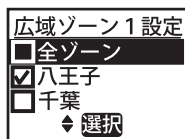
6 矢印キーを押す

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

新たに設定したい広域接続先ゾーンにカーソルを合わせてください。

7 キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。

前画面で選択したゾーンが新たに表示されます。

8 キー（決定）を押す

「プププ」という設定完了音が鳴り、右記画面が表示されます。

その後、画面は待ち受け画面に戻り、新たな設定での運用を開始します。

確認
広域ゾーンを
設定しました

ワンポイント

- 広域ゾーン設定画面には、接続先のゾーン名称または番号が表示されます。選択対象となるゾーンの登録可能な件数は最大 300 件です。
- 具体的なゾーン名称や番号以外にも、以下の内容が表示されます。
  - ①全ゾーン　　：全ての登録ゾーンを広域接続先に指定
  - ②ホームゾーン：自局が通常所属しているゾーンを指定
  - ③全解除　　　：現在設定中の広域接続先を全てキャンセル
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。
- 自局での変更ではなく、中継局からの移動局情報の更新などにより、運用中にゾーンが自動設定されることがあります。その際には、「ゾーン情報を更新しました」というメッセージが表示されます。

ユーザーを切り替える

ユーザーが複数設定されている場合に、自局が所属するユーザーを変更します。

1 キー（メニュー）を押す

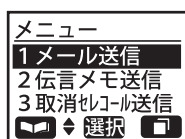
右記画面が表示されます。

2 矢印キーを押す

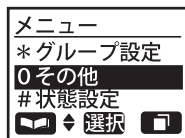
カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「０その他」にカーソルを合わせてください。

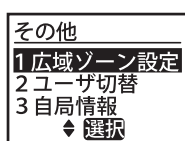
3 キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。

4 ▼キーを押す

カーソルが移動します。

「２ユーザ切替」にカーソルを合わせてください。

ワンポイント

- キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに０キーを押すと、その他の画面に直接移行します。
- キー（選択）を押した後、▼キーを押さずに２キーを押しても、ユーザ切替画面に直接移行します。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

ユーザーを切り替える

5 **キー（選択）を押す**

右記画面が表示されます。

ボックスにチェックの入っているユーザーが現在のユーザーです。

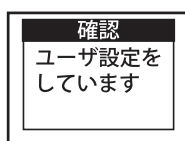
ユーザ切替
☑横浜商事
□田中運輸
□山本流通
決定

6 **矢印キーを押す**

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

7 **キー（決定）を押す**

右記画面を表示後、設定の成否が表示されます。成功すると「ププ」という設定完了音が鳴り、「ユーザを設定しました」というメッセージが表示されます。

確認
ユーザ設定をしています

その後、画面は待ち受け画面に戻り、新たな設定での運用を開始します。

ワンポイント

- ユーザ切替画面には、ユーザーの名称または番号が表示されます。選択対象となるユーザーの登録可能な件数は、最大24件です。
- ユーザーの切り替えに失敗すると、「ピー」という失敗音が鳴り、「ユーザ設定に失敗しました」というメッセージが表示されます。
- ユーザー設定中は、発着信が行えません。
- 電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。
- 自局での変更ではなく、中継局からの移動局情報の更新などにより、運用中にユーザーが自動切り替えされることがあります。その際には、以下のメッセージが表示されます。
  ①ユーザーの自動変更時：
  「注意　ユーザ情報を更新しました」
  ②選択中のユーザー抹消時：
  「注意　ユーザ切替をして下さい」

自局情報を確認する

自局に関する詳細内容が表示されます。

1 **キー（メニュー）を押す**

右記画面が表示されます。

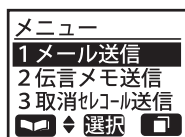
2 **矢印キーを押す**

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

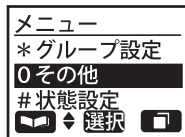
「0その他」にカーソルを合わせてください。

3 **キー（選択）を押す**

右記画面が表示されます。

その他
1広域ゾーン設定
2ユーザ切替
3自局情報
選択

4 **矢印キーを押す**

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

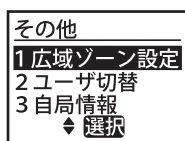
「3自局情報」にカーソルを合わせてください。

ワンポイント

- キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに0キーを押すと、その他の画面に直接移行します。
- キー（選択）を押した後、矢印キーを押さずに3キーを押すと、自局情報画面に直接移行します。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

自局情報を確認する

操作方法

5 **(選択キー)キー（選択）を押す**

右記画面が表示されます。
内容を確認してください。

矢印キーを押すと、更に別の自局情報が表示されます。

自局情報
ﾕｰｻﾞ：横浜商事
自ｿﾞ：八王子
自番：００１２３
▼ 確認

6 **(戻る)キーを押す**

画面は元に戻ります。

(戻る)キーを押さずに(選択キー)キー（確認）を押すと、画面は待ち受け画面に戻ります。

その他
1 広域ゾーン設定
2 ユーザ切替
3 自局情報
◆ 選択

ワンポイント

- 自局情報で表示される内容は、以下の通りです。この中から登録されている内容が順次表示されます。

①ユーザ	：現在のユーザー名称または番号
②自ゾ	：自局の現在位置するゾーン名称または番号
③自番	：自局の個別番号
④着グループ	：自局が所属するグループ番号
⑤移動局機体番号	：自局に付与されている個体別の物理番号
⑥サブ	：サブユーザー時の名称または番号
⑦サ番	：サブユーザー時の個別番号
⑧サブ着グループ	：サブユーザー時の所属グループ番号

コントラストを調整する

画面のコントラスト（濃淡）を調整します。

1 **(選択キー)キー（メニュー）を押す**

右記画面が表示されます。

メニュー
1 メール送信
2 伝言メモ送信
3 取消ｾﾚｺｰﾙ送信
◆ 選択

2 **矢印キーを押す**

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「０その他」にカーソルを合わせてください。

メニュー
＊グループ設定
０その他
＃状態設定
◆ 選択

3 **(選択キー)キー（選択）を押す**

右記画面が表示されます。

4 **矢印キーを押す**

カーソルが移動します。
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「４コントラスト調整」にカーソルを合わせてください。

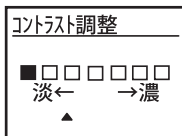
その他
4 ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整
5 詳細確認
◆ 選択

ワンポイント

- (選択キー)キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに(0)キーを押すと、その他の画面に直接移行します。
- (選択キー)キー（選択）を押した後、矢印キーを押さずに(4)キーを押すと、コントラスト調整画面に直接移行します。

コントラストを調整する

5 ▭キー（選択）を押す

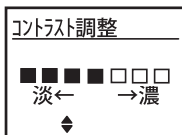
右記画面が表示されます。

コントラスト調整
■□□□□□□
淡←　→濃
▲

> **ワンポイント**
> - 電源を切る前に電池を外してしまうと、設定を保存することができません。

6 矢印キーを押す

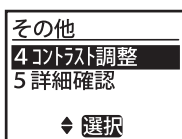
コントラストを 20 段階で調整します。

▼キーで淡く、▲キーで濃くなります。

コントラスト調整
■■■■□□□
淡←　→濃
▲▼

7 戻るキーを押す

画面は元に戻り、新たな設定での運用を開始します。

更に戻るキーを連続で押すと、画面は待ち受け画面に戻ります。

その他
4 コントラスト調整
5 詳細確認
▲▼ 選択

局番号帳の詳細情報を確認する

局番号帳に登録された詳細内容が表示されます。

1 局番号帳で番号を選択した後に▭キー（メニュー）を押す

右記画面が表示されます。

2 矢印キーを押す

カーソルが移動します。

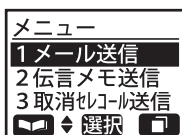
▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「0 その他」にカーソルを合わせてください。

メニュー
＊グループ設定
0 その他
＃状態設定
▲▼ 選択

3 ▭キー（選択）を押す

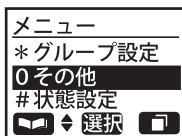
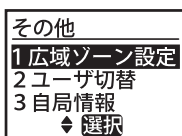
右記画面が表示されます。

その他
1 広域ゾーン設定
2 ユーザ切替
3 自局情報
▲▼ 選択

4 矢印キーを押す

カーソルが移動します。

▼キーで次項目、▲キーで前項目となります。

「5 詳細確認」にカーソルを合わせてください。

その他
4 コントラスト調整
5 詳細確認
▲▼ 選択

> **ワンポイント**
> - 局番号帳の操作に関する詳細は、「局番号帳を利用して発信する」（27 ページ）を参照してください。
> - ▭キー（メニュー）を押した後、矢印キーを押さずに 0 キーを押すと、その他の画面に直接移行します。
> - ▭キー（選択）を押した後、矢印キーを押さずに 5 キーを押すと、詳細確認画面に直接移行します。

局番号帳の詳細情報を確認する

5 (□)キー（選択）を押す

右記画面が表示されます。
内容を確認してください。

矢印キーを押すと、更に別の詳細情報がある場合に、その内容が表示されます。

０１号車
ﾓｰﾄﾞ：個別 00001
ﾕｰｻﾞ：横浜商事
自ｿﾞ：八王子
発呼

6 (戻る)キーを押す

画面は元に戻ります。

(戻る)キーを押さずに(□)キー（発呼）を押すと、表示中の相手局に対して発呼します。

その他
４ｺﾝﾄﾗｽﾄ調整
５詳細確認
◆ 選択

ワンポイント

- 詳細情報で表示される内容は、以下の通りです。この中から登録されている内容が順次表示されます。
  - ①モード ：通信モード＋ (グループ / 個別 / 電話の場合) 相手局番号
  - ②ユーザ ：現在のユーザー名称または番号
  - ③自ゾ ：自局の現在位置するゾーン名称または番号
  - ④接ゾ ：広域接続先のゾーン名称または番号（全て指定されている場合は「全ゾーン」）

キーロックを設定する

キーの操作が無効になるロック設定及び解除を行います。

1 (#)キーを長押しする

約１秒間押してください。

2 キーロックが設定される

「プププ」という設定完了音が鳴り、画面にはキーマークが点灯します。

ワンポイント

- キーロックを解除するときは、再度同様の操作を行ってください。キーマークが消灯し、ロックが解除された状態に戻ります。
- キーロック設定中でも、電源を切る操作、ロック解除及び着信時における通話関連のキー操作（プレス、音量調整）は有効となります。
- 電源を再度入れたときは、電源を切る前の設定が継続されます。
- 電話接続の待ち受け時は、キーロック設定を行えません。

警告表示を行う

電池残量や本体の温度に関する警告メッセージが表示されます。

1 「ピポパポピポパポ」または「ピーッ」という警告音が鳴り、警告内容が表示される

画面に警告メッセージが表示されます。

確認
温度上昇
プレスが
できません

ワンポイント

- 警告メッセージに関する詳細は、「メッセージ一覧」(78 ページ)を参照してください。
- メッセージの表示は、基本的に状況が改善されるまで継続します。(操作時は一時的に消去される場合がある)
- 電池残量が無くなった場合、電源が強制的に切れます。その際は、充電を行ってください。
- 無線装置本体の温度が上昇し過ぎた場合、その後の発着動作ができなくなります。通信が複信または半複信時の送話中にこの状態に達すると、通信が強制的に中断されます。(それ以外の場合は、送話終了後にメッセージが表示され、発着が制限される)

障害表示を行う

無線装置になんらかの障害が発生した場合、その内容が表示されます。

1 「ピー」という障害発生音が鳴り、障害内容が表示される

画面に障害の理由を示すメッセージが表示されます。

ワンポイント

- 障害メッセージに関する詳細は、「メッセージ一覧」(78 ページ)を参照してください。
- 障害メッセージが表示されると、通常はそれ以降の運用が行えなくなります。障害番号と内容をご確認後、必要な処置を実施して、再度電源を入れてください。

桁数・件数一覧

無線装置で使用する各項目の桁数及び件数の一覧は以下の通りです。

No.	設定項目	有効範囲	登録数	備考
1	移動局番号 (個別番号)	５桁 (1 ～ 16383) ４桁 (1 ～ 1023)	――	
2	グループ番号	３桁 (1 ～ 999)	――	着信グループ番号登録最大 101 件 (待ち受け可能なユーザーが複数ある場合は、重複して設定可) 設定により待ち受け中のグループ番号 1 件のみを着信グループに変更可 (グループ発呼規制時、グループ番号未設定時は、着信グループ無しとなる)
3	電話番号 (2nd ダイヤル)	15 桁以内	100 件	待ち受け中は 15 桁、通信中は 12 桁まで入力可
4	相手局名称	全角５文字以内	500 件	カナ登録の先頭文字が「゛」、「゜」、「-」は登録無効
	よみかな	半角カタカナ、英数字 ４文字以内		
5	再発呼移動局番号	移動局番号に準拠	発呼：10 件 着呼：10 件	リダイヤル / コールバック時に表示される番号及び名称
6	再発呼グループ番号	グループ番号に準拠		
7	再発呼電話番号	電話番号に準拠		
8	再発呼相手局名称	相手局名称に準拠		
9	ユーザー番号	半角７または８桁	24 件	
	ユーザー名称	全角５文字以内		
10	無線ゾーン番号	半角４桁－３桁	300 件	
	無線ゾーン名称	全角５文字以内		
11	状態通知内容	全角５文字以内	20 件	自局の状態を示す定型文

桁数・件数一覧

No.	設定項目	有効範囲	登録数	備考
12	定型文内容	全角 12 文字以内	30 件	送信メール作成用の定型メッセージ
13	受信メール内容	指令局からの受信時：全角 96 文字以内 [メール内容の前に受付番号を表示：半角３桁 (1 ～ 255)]	10 件	電話通信中の電話接続用指令局からのメール受信時は、メール内容の前に、送信局の状態を表示
		移動局からの受信時：全角 24 文字以内		
14	送信メール内容	全角 24 文字以内	10 件	
15	伝言メモ	20 ～ 50 秒 (10 秒単位)	最大６件	設定により、両方合わせて最大 120 秒
	通話メモ	20 ～ 120 秒 (10 秒単位)	1 件	
16	周波数番号	1 ～ 399	1 件	

ワンポイント

- 伝言メモ及び通話メモの件数は、設定により変更可能です。総時間 120 秒を６件以内、10 秒単位で分割し、件数を設定します。分割された件数のうち、1 件を通話メモとして使用するかを設定し、残りを伝言メモとして使用できます。

鳴音一覧

無線装置の鳴音に関する内容は以下の通りです。

No.	鳴音名称	音種	鳴音条件
1	キー操作音	ピッ	キーの入力が有効のとき
2	キー誤操作音	ピー	キーの入力が無効のとき
3	設定完了音	プププ	設定が確定したとき
4	全グループ一斉着信音	ピーポーピーポー	全グループ一斉通信が着信したとき
5	個別複信着信音	プルルプルル・・・（連続）	個別複信通信または電話通信が着信したとき
6	個別単信着信音	ピッポー	個別単信通信が着信したとき
7	発呼失敗音	プッププッププッ	発信が失敗したとき (相手局が話中のときは除く)
8	ビジートーン	プープープープー	個別・電話発信の相手局が話中だったとき
9	通話指示音	ピッピー	発信が成功したとき
10	送信権獲得音	ピッ	プレストークスイッチを押したときに自局が送信権を獲得できたとき
11	送信権獲得失敗音	プッププッププッ	プレストークスイッチを押したときに自局が送信権を獲得できなかったとき
12	終話予告音	ピッ	通話時間が残り 10 秒のとき
13	終話音	プー	終話のとき
14	セレコール受信音	ピッポーピッポーピッポー	自局宛セレコールを受信したとき
15	メール着信音	ピッポーピッポーピッポー	メール・伝言メモを受信したとき
16	送信成功音	ピッポー	メール・伝言メモ・セレコール・取消セレコール送信に成功したとき
17	送信失敗音	ピー	メール・伝言メモ・セレコール・取消セレコール送信に失敗したとき
18	再生終了音	プッ	再生が終了したとき
19	録音終了音	プッ	録音が終了したとき
20	システム一斉着信音	ピーポーピーポー	システム一斉通信が着信したとき

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

鳴音一覧

No.	鳴 音 名 称	音 種	鳴 音 条 件
21	システム一斉通知受信音	ピッ	自局が他の通信中にシステム一斉通知を受信したとき
22	予約音	ピーポーパー	発呼による予約状態に移行したとき
23	ユーザー設定催促音	ピ――（2 秒）	移動局情報を更新するときにユーザー選択ができないとき
24	温度上昇警告音	ピポパポピポパポ	無線装置本体の温度が上昇したとき
25	電池残量警告音	ピー（1 秒）	電池残量がごくわずか（電断寸前）になったとき
26	障害発生音	ピ――――――（5 秒）	障害が発生したとき
27	電断音	ピッ	電源を切ったとき

ワンポイント

- 電断音以外の鳴音は、設定によって音量の大小を選択することができます。

メッセージ一覧

無線装置で表示されるメッセージは以下の通りです。

メッセージ内容	説 明
機体番号ＮＧ	移動局機体番号が未実装
移動局情報を抹消しました	移動局情報が廃止されたとき
サービスを停止しました	移動局情報が全ユーザーで停止したとき
機体が未登録です	移動局機体番号が未登録
移動局情報取得失敗	移動局情報の取得に失敗したとき
注意 ユーザ情報を更新しました	ユーザー情報が自動更新されたとき
注意 ユーザ切替をして下さい	ユーザー情報が切り替えられた警告表示
移動局情報をダウンロードしています	移動局情報が更新されたとき
伝言メモ 録音中 残○○秒	伝言メモを受信または送信したとき

メッセージ内容	説 明
○○○○○ 呼出しあり	セレコールを受信したとき
発呼失敗 相手局圏外	相手局圏外が理由で個別発呼が失敗したとき
発呼失敗 相手局話中	相手局話中が理由で発呼が失敗したとき
発呼失敗 ○○○○○○ ○○○○○○	その他の発呼が失敗したとき
ユーザが異なります	発呼（送信）時ユーザーが異なったとき
メールを送信しました	メールを送信したとき
成功	セレコール、取消セレコール送信時
○○○○○ 送信失敗 メール空なし	メール送信または伝言メモ送信において、相手局が空きなしで受信できないとき
○○○○○ 送信失敗 他局呼出中	セレコール送信において、相手局が既に他局から呼出中のとき

メッセージ内容	説 明
○○○○○ 送信失敗 取消対象なし	取消セレコール送信において、相手局が既に呼出しを解除していたとき
○○○○○ 送信失敗 機能なし	伝言メモ送信またはセレコール送信において、相手局に該当機能が無いとき
○○○○○ 送信失敗	その他の理由でメール、伝言メモ、セレコール、取消セレコールの送信が失敗したとき
電源オフ	電源を切ったとき
ユーザ設定をしています	ユーザーを設定中
ユーザを設定しました	ユーザーを設定したとき
ユーザ設定に失敗しました	ユーザー設定が失敗したとき
サブユーザ 使用 できません	サブユーザーが使用できないとき

メッセージ一覧

メッセージ内容	説　明
ゾーン設定をしています	自ゾーンを設定中
ゾーン限定を設定しました	自ゾーンをゾーン限定に設定したとき
感度優先を設定しました	自ゾーンを感度優先に設定したとき
○○○○○を設定しました	自ゾーンを指定したゾーンに設定したとき
ゾーン設定に失敗しました	自ゾーン設定が失敗したとき
発信履歴を全件消去しました	発信履歴を全件消去したとき
着信履歴を全件消去しました	着信履歴を全件消去したとき
履歴が１件もありません	消去操作をしたが、発呼履歴および着呼履歴が両方とも無いとき
送信メールはありません	メールの送信履歴が無いとき
受信メールはありません	メールと伝言メモの受信履歴が無いとき
送信メールを１件消去しました	メールの送信履歴を１件消去したとき
受信メールを１件消去しました	メールまたは伝言メモの受信履歴を１件消去したとき
未確認メールのため消去できません	未読のメールまたは伝言メモを消去しようとしたときのエラーメッセージ
送信メールを全件消去しました	メールの送信履歴を全件消去したとき
受信メールを全件消去しました	メールまたは伝言メモの受信履歴を全件消去したとき
通話メモ録音開始しました	通話メモ録音を設定したとき
通話メモ録音停止しました	通話メモ録音を解除したとき
○○○○○を設定しました	自局状態表示を設定したとき
状態を解除しました	自局状態表示を解除したとき
広域ゾーンを設定しました	広域ゾーンを設定したとき
グループ設定をしています	所属グループを設定中
グループ設定をしました	所属グループを設定したとき
グループ設定失敗しました	所属グループ設定が失敗したとき
接続中	発呼などによる接続動作中
#キーを押し続けると解除します	キーロック時に無効キーを押したとき
ゾーン情報を更新しました	無線ゾーンテーブルを更新したとき
ゾーン切替が行われました	ユーザー切り替えなどによるゾーン切り替えが発生したとき

メッセージ一覧

メッセージ内容	説　明
本体温度が上昇しています	無線装置の温度上昇を検出したときの警告表示
温度上昇プレスができません	無線装置が高温になったときの警告表示
電池残量なし充電してください	電池残量がごくわずかになったときの警告表示

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

免責事項について

- 取扱説明書に従わなかったために生じた故障、事故などに対して、当社はその責任を負いかねます。
- 設置場所、設置方法の不備による落下などの事故に対しては、当社はその責任を負いかねます。

保守

保守・手入れは、無線装置の性能、寿命を左右します。使用前後には、点検を行い、無線装置の状態を毎日確認するようにしてください。

日常の保守

- 本体が汚れたときは、乾いた布や綿棒でふいてください。シンナー・ベンジン・接点スプレー・洗剤などでふくと、本体の変形・変色・割れの原因になります。
- 雨にぬれたあとは、水滴をふき取ってください。
- アンテナ、電池パックなどは、確実に接続されているかを確認してください。
- 十分に充電した電池パックを装着して、プレストークスイッチやキーを押しても操作ができない場合は、異常が発生しておりますので、一度電源を「OFF」にしたあと、再度電源を「ON」にしてください。このような状態が頻繁に起こる場合は、販売店にご連絡ください。
- 充電器の端子、電池パックの端子が汚れたときは、乾いた布や綿棒でふいてください。

定期保守

- 年に1回は、販売店での定期点検をおすすめします。当社では、販売店にて点検などのご依頼をお受けしております。また、無線装置の性能測定、各部品の異常点検及び交換も行っております。

修理を依頼される前に

- 「故障と思われる前に」（82 ～ 83 ページ）の表に従ってご確認されても直らない際は、すぐに電源を切り、電池パックを取り外して、販売店にご連絡ください。

故障

- 本装置は、厳重な品質管理のもとに製造されておりますが、万一故障が発生した際は、すぐに電源を切り、電池パックを取り外して、販売店にご連絡ください。

故障と思われる前に

無線装置のご使用の際に何らかの支障が発生した場合は、以下の内容をご確認ください。

こんなときは	ここを確認してください
操作ができない	● 電源スイッチは入っていますか？ ● 電池が切れていませんか？ ● 電池パックが外れていませんか？ ● 本体温度が限界ではありませんか？
圏内にならない	● アンテナは確実に接続されていますか？ ● 現在いる場所はサービス圏内ですか？ ● サービス圏内であってもトンネル内やビルの谷間など、つながりにくい場所ではありませんか？ ● ゾーン設定が正しく行われていますか？（複数ゾーン使用時に登録ゾーンは合っていますか？）
音が聞こえない	● 受話音量が最小レベルになっていませんか？
音が途切れる	● 受信電波が弱い地域では、音が途切れることがあります。
受話音量が小さい	● 受話音量を切り替えて、聞きやすい音量に調整してください。 ● 発信側で、無線装置を口から離して使用していませんか？

こんなときは	ここを確認してください
受信音声が割れる 受信音声が歪む	● 受話音量を切り替えて、聞きやすい音量に調整してください。 ● 発信側で、無線装置を口に近づけすぎて使用していませんか？
発信ができない	● キーロックされていませんか？ キー操作が無効で、画面上にキーマークが表示されているときはロック状態です。 ● 無線装置の温度が上昇しすぎていませんか？ ● 圏内ですか？
通話が中断された	● 制限時間を超えて通話していませんか？ ● 無線装置の温度が上昇しすぎていませんか？

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

故障と思われる前に

こんなときは	ここを確認してください
充電ができない （充電ランプが点灯しない）	● 充電器または電池パックの端子部が汚れていませんか？
充電時間が長い	● 充電温度（5 ℃～ 35 ℃）の範囲内で充電してください。
その他 （障害発生）	● 画面上に障害番号が表示されるので、その内容を確認後、再度電源を入れてください。何度繰り返しても同様の状況であれば、使用をいったん中止してください。

ワンポイント

- 上記に関連する内容として、「正しくご使用いただくために」（12 ～ 15 ページ）をご一読ください。

用語解説

無線機・移動局

移動局	車載型無線装置／携帯型無線装置を使用する移動が前提の無線局
管理移動局／指令局	営業所などの固定された場所で使用し、通信の管理を行う無線局

通信モード

個別通信	1 対 1 の通信
グループ通信	同一ユーザー内の無線局を特定のグループに分けて行う通信
全グループ通信	同一ユーザー内の無線局が一斉に行う通信
全グループ一斉通信	同一ユーザー内の全通信を強制終了し、管理移動局が優先的に行う全グループ通信
システム一斉通信	移動無線センターからの通信

通話モード

無線機モード	従来の無線機のように、プレストークによる交互の送受話を行う
電話機モード	携帯電話のように耳にあてて使用し、同時に送受話を行う

通信形態

単信通信	プレストークスイッチを押して片方向ずつ通話を行う通信形態
複信通信	携帯電話と同様に、プレストークスイッチを押さなくても双方向通話が行える通信形態
半複信通信	発信側は複信、着信側は単信となる通信形態
広域通信	ゾーン (通話範囲) やユーザーを切り替えて行う広範囲な通信形態

ユーザー

ユーザー	同一のユーザーコードを持つ利用局
ユーザー切替	自局が所属しているユーザーの切り替え

グループ

グループ	ユーザー内をいくつかに分けた小団体
所属グループ	自局に着信するグループ番号

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

用語解説

ゾーン	
ゾーン	１つの中継局下の通話可能範囲
自ゾーン	現在自局が位置するゾーン
ホームゾーン	自局が通常所属しているゾーン
広域接続	現在自局が位置するゾーン以外のゾーンと接続し、通話やデータ伝送を行う広範囲な通信
ゾーン切替	自ゾーンの切り替え

その他	
伝言メモ	不在の相手局に伝えたい情報を録音する機能
メール	文字メッセージを送信する機能
通話メモ	通話の途中で残しておきたい内容を録音し、必要に応じて再生する機能
セレコール（選択呼出）	特定の相手局のみを呼び出し、呼び出された相手局では画面に呼び出し元の個別番号が表示継続する機能

仕様

■ 無線装置

外形寸法	約 58(W) mm ×約 35(D) mm ×約 149(H) mm（つまみなどの突起物は除く）
質量	約 350 g（本体と電池パックを含む。アンテナは含まない。）
変調方式	π／4シフト QPSK
通信方式	２波半複信／２波複信方式
接続方式	時分割多元接続方式 (TDMA)
伝送速度	32 kbps
基本フレーム長	40 ms (4 多重)
送信出力	2 W

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話　　（　　　）　　－
お買い上げ日　　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「故障と思われる前に」（82 ～ 83 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源スイッチを切って、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

●製品名	EK-6175A 形 MCA 携帯機
●品　番	EK-6175A
●故障の状況	できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- **技術料**　診断・修理・調整・点検などの費用
- **部品代**　部品および補助材料代
- **出張料**　技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間　7 年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 7 年保有しています。

株式会社エクセリ　東京都中央区日本橋浜町2-30-1　/ 大阪府大阪市淀川区西中島6-3-32
お問い合わせ総合ダイヤル　0120-880-200

保証とアフターサービス　よくお読みください

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-410**（バナハ ヨイワ）
※携帯電話・PHS からもご利用になれます。

受付：9 時～ 17 時 30 分
（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは
https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示･提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

ARIB 標準規格について

本装置は、社団法人電波産業会の標準規格に準拠しています。

技術基準適合証明について

本装置 (EK-6175A) は、電波法の技術基準適合証明および認証を受けたものです。
本装置を改造するとその効力を失います。
また、移動局以外の目的に使用できません。

機　種　名　　EK-6175A 形 MCA 携帯機

■ その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電 話 フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-410**（バナハ ヨイワ）　受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニックSSインフラシステム株式会社
〒224-8539　神奈川県横浜市都筑区佐江戸町600番地

PYQX1027ZA/D1
F0113-0